

■ 開設年度		■ 開講部局	
2015		共通教育	
■ 科目名			
地球をつくった人々			
■ 英語科目名			
Creating the Earth's History			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
後期	毎週	講義	2
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
c. 知力：自然科学		15. 物理・宇宙・地球を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野4	
■ 受講学部学科			
稲盛アカデミー			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
根建心具		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
0 8 0 - 3 2 2 0 - 0 0 3 4		k7201433@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
基本的にはMoodleを使って相談にのる。面談は月曜日～金曜日の 1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0			
■ 共同担当教員			
なし			
■ メインキーワード		■ サブキーワード	
人類知産の理解と修得		科学的方法の理解と修得	
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
夢と向上心を持って自ら困難に立ち向かう「進取の精神」は非常に大切な素養である。 46億年前に誕生した地球は、海洋ができ生物が誕生して現在に至るという点で、太陽系の他の星にはない特異な進化を遂げた。現代の科学は、この地球が今まで何をしてきたか、想像を絶する歴史を解き明かしはじめた。 その解明の軌跡は、人が自由に考えた空想を作業仮説とし、それを実証するために着実な実験と調査をくりかえしてきた「進取の精神」の発露にある。空想は人々の好奇心を限りなく駆り立てる。そのことを強調するため、この科学史を「人々が地球をつくりあげてきたドラマ」と呼びたい。 これは特別な天才ではなく、我々と同じ素朴な疑問を持つ普通の先輩達の情熱が、つくりあげたドラマである。ということは私たち自身がその気概を先輩達に見習い、身につけることが可能だということを意味する。ここに登場する人々の「進取の精神」は、私たちの生きる「しるべ」として、楽しくまた考えさせられることが多い。 本講義では46億年の地球の歴史を、大陸が動くという発想から始まって、プレートテクトニクスを構築し、地球全体史を解説し、更なる新概念を構築してきた最近の主な研究を振り返って「地球をつくった人々の進取の精神」を考える。			
■ 学習目標			
1. 科学の出発点は「何故?」と思うことであり、その解明のエネルギーの源泉は進取の精神にあることを理解する。			
2. 科学の発展は天才ではなく、凡人の真理探究のエネルギーと進取の精神によることを理解する。			
3. 学問の発展には、政治・経済・文化全体の充実が必要であることを理解する。			
4. 地球科学の基礎的な知識を身につける。			
■ 授業計画・試験の有無 (1 6 回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1回：授業の概要 (地球をつくった人々とは、進取の精神)			
2回：大陸移動説が提唱されるまで (ベーコン、ダーウィン)			
3回：大陸移動説をめぐる常識と非常識			
4回：M. キュリーとマントル対流仮説			
5回：あるノーベル物理学賞受賞者の失敗と成功			
6回：地磁気の逆転を提唱した日本人			

- 7回：第2次世界大戦と海洋底拡大説
 8回：海洋底更新説からプレートテクトニクスへ
 9回：日本列島の重要性和米ソ冷戦の中で揺れ動く日本の科学者
 10回：経済大国と肥大する日本列島を提唱した日本人
 11回：日本のコンピュータとプレートテクトニクス批判
 12回：試験中心主義からの脱却とプレリウムテクトニクス
 13回：原始地球をめぐる師弟の闘争
 14回：鹿児島から国境を越え地球を越えて
 15回：地球を考える現代の動機？ 人類の未来
 16回：期末試験は行わない（期末レポートを実施）

■ 授業外学習(予習・復習)

この授業では、鹿児島大学教育センターが管理する「Moodle」という教育システムを使います。各授業の要点は始まる前に読むことができるし、授業後は教材をもう一度復習することもできる。毎回、短いレポートをこのMoodleを使って提出してもらい、よく理解するまで繰り返し教師と交信できるようにしてあります。

■ 受講要件

本講義のテーマに関心を持ち、「進取の精神」を学びたいと思っていること。
 46億年の地球の進化に興味を持っていること。

■ 成績の評価基準

毎回授業についてパソコンや携帯電話で、Moodleを使って毎回200字程度のミニッツペーパーを提出してもらい評価する（70％）。期間中と期末にまとめのレポートを提出してもらい評価する（30％）。学期末試験は行わない。

■ 教科書

特になし。

■ 参考書

授業中に指示をする。

■ 地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）

■ 地域志向科目の領域

■ その他

この授業では、鹿児島大学教育センターが管理する「Moodle」という教育システムを使い、家庭のパソコンや携帯電話を使って、「ミニッツペーパー」と呼ぶ短いレポートを書いて担当教員と交信します。第1回目の授業で使い方を説明します。簡単ですからよく聞いて使い慣れてください。